

求むInnovation Partners!!

イブニング サロンNEWS

2010 11/5 第19号
(年6回発行)

イブニングサロン公式サイト

<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

発行

イブニングサロンNEWS」を発行する会
事務局・東方通信社
TEL: 03-3518-8844



同社の内藤清吾社長

1945年の創業以来、ダクト工事、配管・設備工事、エンジニアリング事業を展開してきたプロフェッショナル。プラズマ製造機などを使つて、亜鉛鉄板やステンレス等をさまざまな形状に切断していくワザには定評がある。受注した施設に合った製品を生産し、取り付けまで一貫して行うため、評判が評判を呼んで成長してきた。

(株)内藤工業所

空調、給排水設計・施工の プロフェッショナル

11月5日(金)、第28回目の「新都心イブニングサロン」が開催される。今回のテーマは「人づくり」。人が育てば企業や組織も伸びていく。どれだけ意欲のある社員を育成できるかが、大きな力ギを握る。神亀酒造のように他の蔵元が修行に訪れる企業などは、その極みといえる。元気企業の人づくりにぜひ注目してほしい。

元気企業 躍進のトミミシ 「人づくり」に迫る!!

現在では北関東から東北の各地に拠点を設け、空調ダクトや各種設備工事の施工を一貫して取り組む体制を整備するまでに。関連会社のひとつエヌケー製作所(福島県郡山市)では工場省力化機器や熱処理装置などを設計・製造している。また、エヌケー紫波(岩手県紫波町)ではステンレス加工、空調ダクトを製造。協立ダクト工業(宮城県仙台市)ではダクトの製造・取付・保守を実施。さらにITを専門とするエヌケー・テックも設立し、グループ内に情報ネットワーク化や原価管理システムなどを導入した。さらに今後は、この社内システムを外部にも展開していく予定だという。

幅広く事業展開をしているが、本業はやはりモノづくり。近年は、コイル自動供給装置を開発し注目を集めている。これは電線に張力を加えて、コイル軸を回転させ、自動的に銅線を供給する装置。また、平角な



角ダクトのサンプル

銅線を楕円に巻く「平角線楕円巻線機」なども開発している。
未来的な新技術から日々の生活に役立つ商品まで、様々なアイデアを形にしている同社。世界に誇れる福島の元気企業だ。

T0963-8809-1
福島県郡山市鶴見坦1-14-5
TEL024-623-1800
<http://kougyounk-g.co.jp/index.html>

産業界のムーブメントを リードする開発型企業

ポーライト(株)

1952年、ポーライトは「粉末冶金」によるオイルレスベアリングの製造から出発した。「粉末冶金」とは金属の粉末を型に入れて固め、それを焼いて精度の高い部品を大量に作る技術。同社はこれを皮切りさまざまな技術開発に着手。今では、材料自体に油を含めて、無給油で長時間運転を行う「含油軸受」など、さまざまな技術を応用しながら、モノづくりの裾野を広げてきた。

「創業から今まで顧客ニーズを最優先にしてきた」と話す同社。マシンパーツや歯車、自動車部品、OA機器、情報AV機器などあらゆる製品の部品を手がけ、その生産数はなんと世界一になったほど。加えて、技術開発に熱心に取り組んでおり、数多くの特許や実用新案を所有している。



同社のマシンパーツ



社長の菊池眞紀氏

これらの技術は国内外から評価が高く、日本粉末冶金工業会などからも数々の賞を受賞している。直近では09年に「上下にツバを有するFAXモータ用抜け止めリング」が新製品賞・デザイン部門を受賞。08年には「安価で低温と高温での特性に優れる車載モーター用焼結含油軸受」が奨励賞を受賞している。

すでに活躍の場は世界にまで広がっており台湾、シンガポール、マレーシア、中国、タイ、アメリカに生産拠点を、香港、フランス、アメリカに営業拠点を開設し全世界に製品を供給できる体制を構築している。

T 031-0826
埼玉県さいたま市北区日進町
2-1-21
TEL 048-053-2222
<http://www.porite.co.jp/>

シミュレーション機で ゴルフブームを牽引!!

(株)スイングアリーナジャパン

石川遼や女子プロゴルファーたちの活躍で、ゴルフの人気は急上昇中。今までサラリーマンがほとんどだったゴルフスクーには若い人や女性客なども目立ってきている。この流れを好機ととらえ、さまざまな挑戦を続けていくのがスイングアリーナジャパンだ。同社はゴルフスクールやさいたまスパーアリーナ1Fにある「スイングアリーナ」という練習場などを展開している。

スイングアリーナは、ゴルフシミュレーターを12台設置しており、その規模は日本最大級。シミュレーション機に映ったバーチャル空間でゴルフをする

方式のため、一見するとゲームセンターのように見える。だが、驚くほどリアルな感触を再現しており、グリーンへのプレー感覚も楽しめる。

さらに最近では「スイングキャプチャーSC10000」を導入し、リアルなパットの再現にも成功。目の前にあるラインを読んでカップインさせる感覚が楽しめる。コロコロ転がったボールが「カラン」とインしたときの音を聞くと、他のシミュレーション機とは一線を画することを実感できる。

現在は東北山形店や千葉市川店もオープンしているほか、ゴルフレッスンまで展開。お年寄、女性、子ども、初心者などにも人気のスポットになっている。

T 338-0002
埼玉県さいたま市中央区下落合
4-14-22
TEL 048-840-1562
<http://www.swingarena.jp/>



広い室内にズラリとシミュレーション機が並ぶ



バーチャル画面ながらリアルな感触を再現している

地酒ファンがうなる 熟成清酒の極み!!

神亀酒造

埼玉県蓮田市の「神亀」は嘉永元（1848）年に創業した埼玉を代表する蔵元のひとつ。蔵の裏手にあった「天神池」に棲むと言われる「神の使いの亀」に因んで命名された。

日本酒の原点である「米の旨味とコク」を追求しており、地酒ファン憧れの蔵になっていく。清酒の熟成の技術は、全国の蔵元のなかでもトップクラスといわれており、活性純米生酒から熟成純米吟醸まで、すべてが最高の旨味を引き出している。

神亀酒造は83年に普通酒の製造を停止し、87年から清酒のすべてを純米酒以上とした「革命児」だが、熟成によって清酒をさらに良い状態へと持って行く技術は、他の蔵元も一目置いていた。そのため、神亀の蔵で修業し、酒造りの技術を磨いてから自分の蔵を継ぐという後継者も多いほどだ。



神亀酒造の蔵



地酒ファン憧れの「神亀」

ちなみに、神亀酒造で醸された清酒は発売されるまで、最低でも2年間の熟成を経てから出荷される。中でも神亀純米辛口は、室温で飲むと他とは異なる厚みのある味わいが特徴。「辛口」と書かれていないが想像するほどではなく、ほんのりとした甘味に驚くはず。しかも、爛につけるとコクと味わいが一回り以上も膨らむ。これからの季節はまさに神亀の酒が美味しい時期である。

〒349-0114
埼玉県蓮田市馬込1978
TEL048-768-0115

(社)関東ニュービジネス協議会

1985年、通商産業省産業政策局サービス産業課を主務官庁として設立。ニュービジネスの振興に寄与するために設立された国内最初の公益法人。

ニュービジネスとは、既存の業種・業態の枠組みを超え、事業者が社会の変化やニーズを的確に捉え、提供される商品・サービスに革新性、新規性が認められるか、または経営手法に新規性が認められる事業で、高成長、高収益を遂げている事業のこと。

現在、法人・個人合わせて450名の会員がおり、その特徴はサービス業から製造業、事業規模についても多岐にわたる。最近では資本金3000万円以下の会員が40%超となっている。

東京都港区赤坂1-6-8
井上赤坂ビル3階
TEL:03-3584-6080



<http://www.nbc-world.net/>

野長瀬教授「モノづくり通信簿」に「垣境精機」が登場(コロンブス10月号)

垣境精機は金属などの素材を一定の幅で裁断して巻き取るスリッターマシンの専門メーカー。数ミクロン単位に対応した裁断技術と高精度な巻取り技術で、太陽光パネルや半導体製造分野では欠かせない存在となっている。



「モノづくり」通信簿をつける野長瀬教授

そもそもスリッター加工とは金属、紙、フィルムなどの素材をテープ状に細長く裁断して巻き取る加工方法。ロールペーパーやカセットテープ、食品の包装紙といった身近なものから感光材、粘着材、リチウムイオン電池、太陽光パネルまで、幅広い

分野で使われている。垣境精機はそんなスリッター加工機の専門メーカー。その特徴は「リチウムイオン電池や太陽光パネルなど、高い精度を必要とするモノづくりに特化していること」と話すのは代表取締役の垣塚正男氏。

そのひとつが独自に開発した「HTC巻取りシステム」にある。金属板を裁断して巻き取る際、板厚偏差や裁断した際に発生するバリなどが原因で巻取り径に差ができるという。そのため「そのまま巻取りを続けると緩みや垂れ下がりが生じ、材料にスリ傷などが発生しやすくなる」そうだが、その点、このHTC巻取りシステムだと「ロールごとに巻取りの速度を変えることで、緩みや垂れ下がり解消できる」という。また、独自

の裁断方式によってバリの高さを数ミクロン以下にまで抑えることができるという。さらに裁断の精度を高めるために行っているのがキサゲ加工だ。このキサゲとはノミ状の工具を使って金属の平面を削り取っていく作業。「工作機械は、加工の寸法誤差が1マイクロメートル前後といわれていますが、このキサゲ加工は機械加工では得られない平面度を出すことができる。刃物を動かすヘッド面にこのキサゲ加工を施すことで裁断の精度がグッと高くなる」そうだ。

現在は中国をはじめ東南アジア諸国にある日本の工場からの注文が相次いでいる。「今後はアジアに営業拠点を設けて販路を拡大していく。課題はさらなる技術力のアップ」と意欲的だ。スリッターマシンというニッチ分野で存在感を示す垣境精機。モノづくりの高度化がすすむなか、同社のマーケットはますます広がりをを見せている。



垣塚正男社長

垣境精機(株)
埼玉県秩父郡小鹿野町下小鹿野875
TEL0494-75-3310

サロン公式サイトで「ニュース」公開中

第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」



は、新都心イブニングサロン公式サイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにてアップされています。第18号までアップしていますので、ご覧ください。

今後も引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思っております。新商品や新技術の開発、ご意見・ご要望までふるってお寄せください。

★イブニングサロン公式サイト
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

★東方通信社サイト
<http://www.tohopress.com>
問合せ：TEL03-3518-8844

e-mail：ryot@tohopress.com

月刊「コロンブス」が元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロンブス』



(東方通信社発行)には、野長瀬裕二教授の連載コーナーのほか、地元の元



気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長(04年10月号)やNECパーソナルプロダクツの柴田執行役員(06年2月号)など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。

問合せ TEL：03-3518-8844

★イブニングサロンの主な世話人

江田元之 元(財)さいたま市産業創造財団・理事長／星野弘志 元埼玉県労働商工部新産業育成課・課長／村重嘉文(株)イーシティ埼玉・取締役会長／野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工学研究科・教授／浜中真人・さいたま商工会議所産業企画部・次長

★主な企画運営委員

山田頼二(財)浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長／江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局長／古川猛 月刊『コロンブス』編集長(東方通信社)／根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長／柴田孝・米沢BNO副代表

「産業栽培度」

